

# 「マイマイガ」の大量発生について 町民の皆様へお願いがあります!

今年は、日本各地で「マイマイガ」の大量発生が報告されておりますが、7月以降当町においても、ホロノエル通りを中心に大量発生の兆しが見えます。

「マイマイガ」は、約10年周期で大量発生し、終息までに2～3年かかります。

発生を阻止する方法や一斉に駆除する有効な手段がないため、幼虫等の駆除に関して、公共施設等につきましては次年度の発生抑制に努めてまいりますので、各町内会及び各ご家庭、各事業所につきましても、町民の皆様のご協力をお願い致します。

## 1. 「マイマイガ」の生態

「マイマイガ」は、ドクガ科に属する蛾の一種で、日本各地に生息しているほか、アジア、ヨーロッパ、北アフリカに分布しています。

8月頃から翌年4月頃までを卵で過ごし、ふ化すると幼虫（毛虫）になります。

7月から8月にかけて成虫になり、数日のうちに産卵します。

成虫の寿命は、1週間から10日ぐらいと言われています。

## 2. 「マイマイガ」の特徴

卵は500個くらいまとまった卵塊で生まれ、木の幹や建物の壁などによく見られます。

毛虫は糸を出し、風に乗って拡散することがあります。

成虫は水銀灯の照明や白っぽい外壁を好み、その付近に卵を産み付けます。

## 3. 人体への影響

皮膚の弱い人、幼児などが毛虫に触れると体毛が刺さるなど、痛みがあつたりかぶれることがあります。

成虫の羽にある鱗粉が肌につくと、人によっては発疹の出ることがあります。

「マイマイガ」（毛虫・成虫）に直接触れないように注意しましょう。

## 4. 卵の駆除について

成虫に殺虫剤を使用しても効果は期待できません。翌年の発生を抑えるためには、8月頃から翌年4月頃のうちに卵塊を除去することが効果的です。

底部を切り取った角型ペットボトルや硬いプラスチック製のヘラを使い、卵塊をそぎ落とします。そぎ落とした卵塊は、土に深く埋めるか、レジ袋等に入れて、町民課生活環境グループまで持参してください。

なお、卵の除去を行う場合は、卵塊の周りの毛が舞い上がることに備え、マスクやゴーグルをしてください。また、粘着テープで貼り付けてはがすことを数回繰り返すと取れます。

## 5. 成虫を寄せ付けないために

町では、公共施設における卵塊の除去を実施し、次年度の発生抑制に取り組んでいます。町民の皆様にも、ご家庭や事業所などで以下の取り組みにご協力くださいますようお願い致します。